

令和6年度

四街道市特別支援連携協議会  
(第2回)



四街道市教育委員会

令和6年度 第2回 四街道市特別支援連携協議会 開催要項

令和7年2月14日(金) 14:00～

四街道市役所第二庁舎第2会議室

1 開会

2 教育委員会挨拶

3 座長挨拶

4 議題

(1) 報告

- ①令和6年度特別支援体制推進事業の成果と課題について (資料1)
- ②難聴通級指導教室、LA 通級指導教室の運営状況について (資料2)
- ③令和6年度養護教諭研修会について (資料3)
- ④令和6年度青い麦の子振興ふれあい運動会について (資料4)

(2) 協議

- ①令和7年度の取組について

5 閉会

# 令和6年度 特別支援連携協議会委員

任期 令和6年4月1日から令和7年3月31日

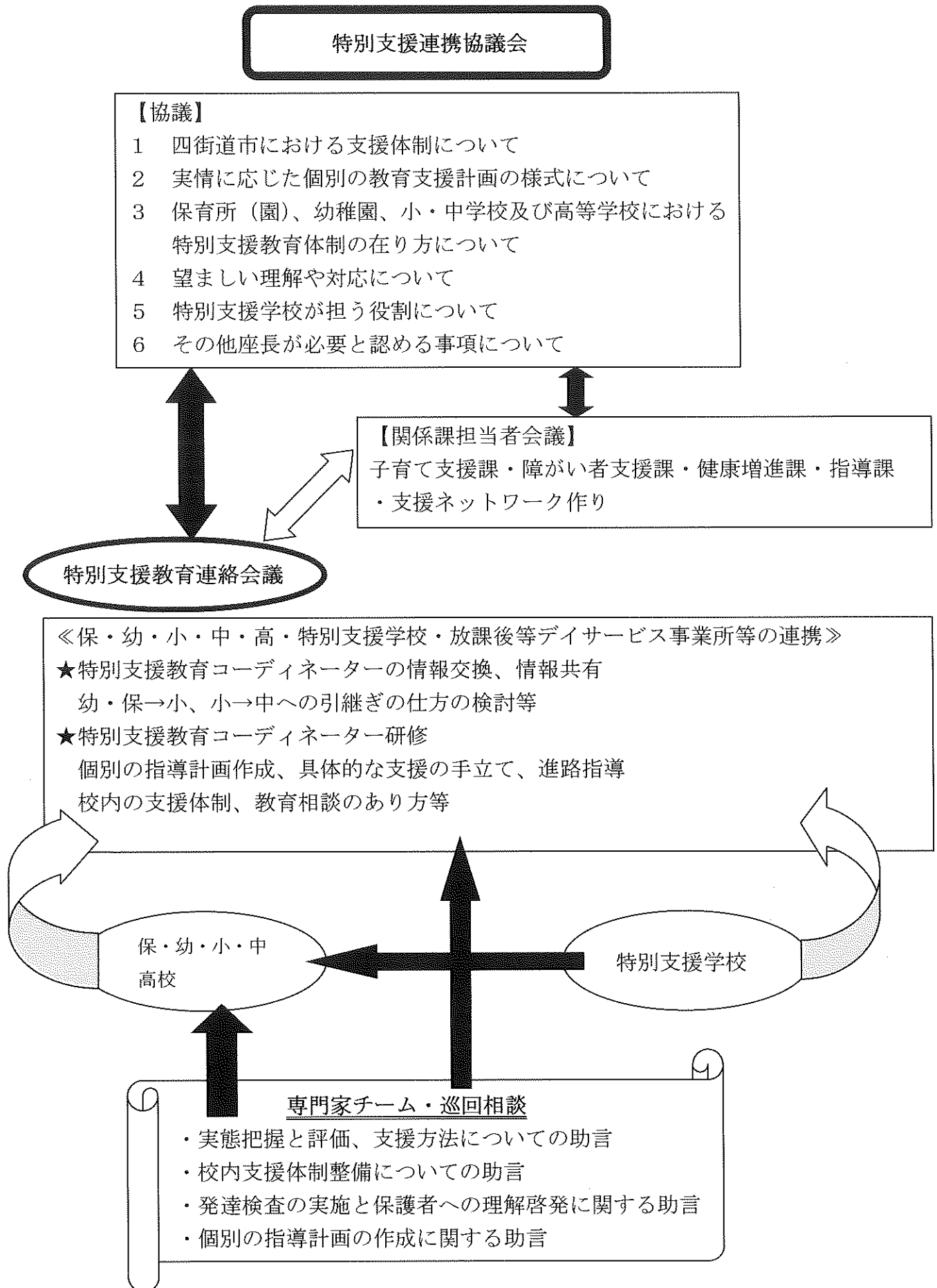
| 氏 名    | 選出区分  | 備 考                        |
|--------|-------|----------------------------|
| 角田 哲哉  | 学識経験者 | 放送大学 教授                    |
| 砂川 ひかる | 医療関係  | 国立病院機構下志津病院                |
| 塩田 花子  | 保健関係  | 健康増進課長                     |
| 下山 仁志  | 福祉関係  | 障がい者支援課長                   |
| 坂本 紀久  | 福祉関係  | 子育て支援課長                    |
| 松崎 章子  | 保育関係  | 四街道市立中央保育所長                |
| 岩井 玲子  | 療育関係  | 児童デイサービスセンターくれよん所長         |
| 高倉 幸世  | 教育関係  | 認定こども園第二コスモス幼稚園長           |
| 渡部 健   | 教育関係  | 四街道市立和良比小学校長               |
| 浅沼 千鶴  | 教育関係  | 千葉県立千葉盲学校長                 |
| 木次 慎一  | 教育関係  | 千葉県立四街道北高等学校長              |
| 神子 真二  | 労働関係  | 公共職業安定所「ハローワーク千葉」所長        |
| 松島 浩一郎 | 関係機関  | いんば中核地域生活支援センター「すけっと」所長    |
| 高塚 啓子  | 関係機関  | 千葉県教育庁北総教育事務所<br>指導室主席指導主事 |
| 五十嵐 雅子 | 市民    | 発達支援サークルすてっぷ代表             |
| 小島 貴子  | 市民    | クレパスの会代表                   |

令和 6 年度

四街道市特別支援連携協議会  
(第 2 回)

資 料

四街道市教育委員会



## 令和 6 年度特別支援体制推進事業の成果と課題について

## 1 特別支援連携協議会

## (1) 構 成

| 区 分     | 所 属 ・ 職 名                |
|---------|--------------------------|
| 学識経験者   | 放送大学教授                   |
| 医療関係者   | 小児科医師                    |
| 保健関係者   | 四街道市健康こども部健康増進課 課長       |
| 福祉関係者   | 四街道市福祉サービス部障害者支援課 課長     |
| 福祉関係者   | 四街道市健康こども部子育て支援課 課長      |
| 保育関係者   | 四街道市立中央保育所 所長            |
| 療育関係者   | 児童デイサービスくれよん 所長          |
| 教育関係者   | 第二コスモス幼稚園長               |
| 教育関係者   | 四街道市立和良比小学校長             |
| 教育関係者   | 千葉県立千葉盲学校長               |
| 教育関係者   | 千葉県立四街道北高等学校長            |
| 労働関係者   | ハローワーク千葉 所長              |
| 関係機関担当者 | いんば中核地域生活支援センター「すけっと」 所長 |
| 関係機関担当者 | 千葉県教育庁北総教育事務所指導室 主席指導主事  |
| 市民      | 発達支援サークルすてっぷ 代表          |
| 市民      | クレパスの会 代表                |

## (2) 会議内容

## ①第 1 回

- ア 日 時 令和 6 年 7 月 9 日 (火) 14:00～16:30
- イ 場 所 四街道市役所第二庁舎第 2 会議室
- ウ 内 容 ○各関係機関・団体等における現状と課題について  
○四街道市の特別支援教育の現状と今年度の取組について  
○その他

## ②第 2 回

- ア 日 時 令和 7 年 2 月 14 日 (金) 14:00～16:30【予定】
- イ 場 所 四街道市役所第二庁舎第 2 会議室
- ウ 内 容 ○特別支援体制推進事業の成果と課題について  
○来年度に向けて 等

## (3) 成果と課題

## ①成果

- ・平成 19 年から年 2 回連携協議会を行い、本市の特別支援体制等について意見交換を行っている。教育、保健、福祉、労働の各関係機関や保護者の代表がそれぞれの立場から、子どもたちへの支援の在り方、各関係機関との連携の在り方等について話し合うことができた。

## ②課題

- ・一人一人の子どもにあった進路を見つけていくことができるよう、それぞれの機関で何ができるかを情報共有し、よりよい支援につなげていきたい。

## 2 特別支援教育連絡会議

特別支援連携協議会の作業部会として、平成18年度より特別支援教育連絡会議を組織している。

- (1) 目的
  - ・四街道市内の特別支援教育に関するネットワークを作る。
  - ・特別支援教育に関する研修を深め、特別支援教育コーディネーターのスキルアップをめざす。
- (2) 参加者 市内小中学校の特別支援教育コーディネーター、通級指導教室担当者、近隣特別支援学校の特別支援教育コーディネーター、市内保育所（園）・幼稚園職員、市内高等学校担当者、市役所関係課（健康増進課、子育て支援課、障害者支援課）担当者、児童デイサービスくれよん担当者、放課後等デイサービス職員、下志津病院臨床心理士
- (3) 内 容
  - グループ別情報交換
  - 特別支援教育に関する研修
  - 情報交換、特別支援学校の紹介、市福祉サービス等の紹介
- (4) その他 教職員のニーズに合ったものになるよう、アンケートによる会議内容の検討を行った。
- (5) 会議内容について

### ①第1回

- ア 日 時 令和6年6月12日（水）14：00～16：30
- イ 場 所 南部総合福祉センター
- ウ 参加者 51名
- エ 内 容
  - ・令和6年度 特別支援教育体制推進事業について
  - ・関係各課、いんば中核地域生活支援センターの紹介
  - ・特別支援学校のセンター的機能の紹介
  - ・情報交換

### ②第2回

- ア 日 時 令和7年1月29日（水）14：00～16：30
- イ 場 所 南部総合福祉センター
- ウ 参加者 49名
- エ 内 容
  - ・令和6年度 of 取組について
  - ・児童生徒の就学の流れについて（就学支援シート・サポートシート）
  - ・合理的配慮の合意形成について
  - ・情報交換会

## (6) 成果と課題

### ①成果

- ・ 保育所（園）・幼稚園、小中学校、高等学校、特別支援学校、放課後等デイサービス、関係各課の支援ネットワーク作りをすすめることができた。
- ・ 特別支援教育コーディネーターが、互いに特別支援教育の支援体制について情報交換を行ったり、特別支援学校からの助言等、校外からの支援を積極的に取り入れるようになったりとネットワークを生かし、必要な連携を図ることができた。
- ・ それぞれの立場から特別支援教育、スムーズな就学について、情報交換することができ、参加者のアンケートからも有意義な時間であったとの回答が多かった。

### ②課題

- ・ 特別支援教育コーディネーターが各学校の中心となって活動できるよう、一層スキルアップを図るための研修を企画していきたい。
- ・ 各学校において、特別支援学校と連携してその専門性を伝えてもらう機会が少なかった。連携して支援が充実した事例を周知することで、特別支援学校から学ぶ機会を増やしていく。

## 3 関係課特別支援担当者会議

### (1) 会議内容について

- ・ 就学相談、医療的ケア児、相談支援ファイル「にじいろサポート」の周知・活用について随時連絡を取り合い、連携を図った。

### (2) 成果と課題

#### ①成果

- ・ それぞれの課で把握している就学前児童、医療的ケア児について、その都度、情報共有し、保護者から相談が入り次第、当課につなげていただくことでスムーズな就学相談ができた。
- ・ 訪問看護ステーションの委託について情報共有を図ることができた。
- ・ 相談支援ファイル「にじいろサポート」の様式等を四街道市のHPに掲載し、保護者や支援者が必要に応じてダウンロードすることが可能になった。

#### ②課題

- ・ 市全体を通じて、保護者の意向に寄り添いながらも児童の状況に合った就学ができるよう、さらに体制を整えていく必要がある。
- ・ 今年度は各課との日程調整ができず、会議の開催が難しかった。年度末に次年度の開催予定を協議することで定期開催につなげ、よりスムーズな連携を図っていきたい。

## 4 専門家チームの活動

- (1) 目的 専門家チームによる巡回相談の在り方を検討したり、事例検討を行ったりして、市内小・中学校の特別支援教育の推進及び校内体制の整備を図る。

(2) 構成

| 区 分        | 所 属 ・ 職 名                       |
|------------|---------------------------------|
| 関係機関担当者    | 千葉県教育庁北総教育事務所指導室 指導主事           |
| 学識経験者      | 元四街道市巡回相談員                      |
| 学校関係者      | 千葉県立四街道特別支援学校<br>特別支援教育コーディネーター |
| 学校関係者      | 千葉県立千葉盲学校<br>特別支援教育コーディネーター     |
| 学校関係者      | 四街道市立千代田中学校<br>特別支援教育コーディネーター   |
| 教育委員会関係者   | 四街道市巡回相談員                       |
| 療育関係者学校関係者 | 児童デイサービスくれよん 児童発達管理責任者          |

(3) 活動内容

①専門家チーム会議

○第1回

日 時 令和6年5月22日(水) 15:00～16:30  
場 所 四街道市役所第二庁舎第2会議室  
内 容 ○四街道市の現状について  
○特別支援体制について  
○令和6年度の活動について 等

○第2回

日 時 令和7年2月4日(火) 15:00～16:30  
場 所 四街道市青少年育成センター2階  
内 容 ○令和6年度特別支援体制推進事業の成果と課題について  
○青い麦の子振興ふれあい運動会について  
○令和7年度の取組について 等

②巡回相談

ア：中学校特別支援学級への支援

＜派遣先及び派遣日時＞

○旭中学校 令和6年11月 1日(金) 14:10～16:25  
○四街道西中学校 令和6年11月26日(火) 10:40～12:30

＜内 容＞

○特別支援学級の運営、特別支援教育コーディネーターとしての役割、

## ○授業以外の生活指導等についての指導・助言

### イ：「専門家チームへの Forms 相談」の実施

目 的 児童生徒への支援方法等に不安や疑問を抱える教職員へ専門家チーム委員が助言を行うことで、教職員のスキルアップを図るとともに、支援の充実を図る。

対 象 特別支援学級担任経験 1～3 年目（6 年度末）の職員

相談方法 Microsoft Forms 二次元コードにて入力

### （３）成果と課題

#### ①成果

- ・上記の巡回相談の中で特別支援学級担任の学級経営や支援方法での悩みを聞き、指導助言をいただくことができた。

#### ②課題

- ・専門家チーム委員が、学校訪問により、対応が難しい子どもたちへ指導・助言を行うことができるよう、ケースに応じて事務局でコーディネートしていく必要がある。

## 5 発達相談

平成 20 年 11 月より、指導課で四街道市巡回相談員による発達相談を実施している。

### （１）巡回相談、来所相談による発達相談（令和 7 年 1 月 31 日現在）

①相談の件数 58 件

②対象 市内小学校に在籍している児童生徒及びその保護者  
市内の小中学校に勤務している教職員  
市内在住で令和 7 年度に就学予定の幼児及びその保護者

#### ③相談内容

○日数 36 日

○諸検査の実施 57 件（WISC-IV 56 件、田中ビネー 1 件）

○授業参観・面談 1 件

○面談（検査報告を除く） 0 件

○児童生徒等に係る相談件数 児童生徒 56 件 14 校、就学前児 2 件  
（中学校 7 件 3 校、小学校 49 件 11 校）

### （２）成果と課題

#### ①成果

- ・市内小中学校では巡回相談（発達検査）による指導助言を生かした支援に努めている。支援の充実に向けて市巡回相談員の果たす役割は大きい。

#### ②課題

- ・発達検査の依頼は年々増加しており、週 1 回の市巡回相談員による発達相談だけで

は、対応が難しくなっている。

- ・発達検査に至るまでのプロセスについて、各学校でも校内でよく検討してもらう必要がある。
- ・外国籍児童のアセスメントや検査の方法について体制を整える必要がある。
- ・今後、医療機関との連携が必要と思われるケースが多くあるため、学校が必要に応じて対応できるよう、保護者の理解を得て医療機関につなげることの重要性について研修内容に入れていきたい。

## 6 教職員等の研修（市主催研修）

### （1）一般教職員の研修

令和6年8月19日（月）9：45～12：00 南部総合福祉センター

テーマ 「通常の学級における特別支援教育の推進について」

講師 淑徳大学 教授 松浦 俊弥 先生

参加者 46名

対象 市内小中学校通常の学級教職員  
市内幼稚園・保育所（園）教職員  
県立特別支援学校教職員  
市内高等学校教職員  
福祉関係課職員

※ 後日オンデマンド配信実施（市内小中学校・保育所（園）・幼稚園）

### （2）特別支援学級担任・特別支援教育コーディネーターの研修

令和6年4月19日（金）15：00～16：30 オンライン

テーマ 「特別支援学級の運営と教育課程の編成」  
「特別支援教育コーディネーターの役割」 等

講師 四街道市教育委員会指導主事

対象 市内小中学校の特別支援教育コーディネーター

参加者 17名

### （3）特別支援教育支援員の研修

①令和6年4月5日（金） 15：00～16：00

場 所 四街道市青少年育成センター 2階

テーマ ・特別支援教育支援員としての心構え  
・服務に関する事務処理について

対 象 市内各小中学校に配置される特別支援教育支援員

参加者 37名

②令和6年7月19日（木）14：30～16：00

場 所 南部総合福祉センター

|     |                                         |
|-----|-----------------------------------------|
| テーマ | ・「特別支援教育支援員の役割と学級担任との連携について」<br>・グループ討議 |
| 講師  | 元四街道市巡回相談員<br>山辺 浩子 先生                  |
| 対象  | 市内各小中学校に配置される特別支援教育支援員                  |
| 参加者 | 34名                                     |

#### (4) 成果と課題

##### ①成果

- ・通常の学級担任を対象とした研修では、通常の学級における支援を必要とする児童生徒への対応について、講話をいただき、適切な支援について考えることができた。
- ・校内支援体制を整えていく上で、重要な役割を担う特別支援教育コーディネーターが参加する研修会を実施することができた。年度始めに研修会を実施することで、四街道市の特別支援教育の相談支援体制等について理解を深めることができた。
- ・特別支援教育支援員の研修会では、特別支援教育支援員からの事前のアンケートをもとに、講師の先生に講話をしていただいた。特別支援教育支援員が日頃の児童生徒の支援や職員との連携について困っていること等、適切な助言をいただくことができた。

##### ②課題

- ・特別支援学級の増加により、経験の少ない担任が増えているため実践的な研修を実施したい。
- ・通常の学級担任の研修の参加について今後もさらに呼び掛け、それぞれの子どもたちにあった支援ができる教職員を育てていく必要がある。
- ・特別支援教育コーディネーターの役割について、校内支援体制が構築できるよう実践的な研修を実施したい。

## 7 医療的ケア児への支援

令和4年度より看護師を配置している。

令和4年度は市の会計年度任用職員の看護師であったが、令和5年度より、訪問看護ステーションへ委託し、令和6年度は小学校2校へ看護師の派遣を行っている。

##### ①成果

- ・訪問看護ステーションへの委託での派遣になり、児童が安心して学校生活を送ることができた。
- ・看護師から保護者や教職員への説明も適切に行われ、保護者、教職員が児童への支援方法を共通理解し、支援にあたることができた。
- ・児童に係る保護者の付き添いを減らすことができた。
- ・配置校が2校になったが、学校、看護師、家庭の連携を密にし、円滑に支援が行われていた。

## ②課題

- ・今後、医療的ケアの対象児童の入学が増えることが予想されるため、関係各課、訪問看護ステーションとの連携がさらに必要である。
- ・今後、看護師の配置校が増えることが予想されるため、校外学習や宿泊学習時の対応等、共通理解できるよう、四街道市の医療的ケアのガイドラインを訪問看護ステーションと連携し、整備していく必要がある。

## 難聴通級指導教室、LD・ADHD 等通級指導教室の運営について

難聴通級指導教室（令和 7 年 1 月 3 1 日現在）

- 1 指 導 校 四街道市立八木原小学校
- 2 設 置 令和 6 年 4 月 1 日
- 3 通級児童生徒人数 1.0 名（自校通級 1 名 他校通級 9 名）
- 4 指 導 時 間 週 1 ～ 2 時間
- 5 活 動 内 容
  - ・聴覚の管理
  - ・言語力の育成
  - ・発音の指導
  - ・コミュニケーション意欲と能力の向上
  - ・障がい受容と障がいの認識
  - ・在籍学級児童生徒への難聴理解授業
  - ・保護者、学級担任への支援 等
- 6 担当の研修
  - （1）成田小学校教諭による研修
    - 日時 令和 6 年 7 月 2 6 日（金）
    - 場所 成田市立成田小学校難聴通級指導教室
    - 内容 教室運営、指導内容等
  - （2）千葉聾学校教諭による研修
    - ①日時 令和 6 年 4 月 2 6 日（金）
      - 場所 四街道市立八木原小学校 きこえの教室（難聴通級指導教室）
      - 内容 教室環境、運営、個別の指導計画の作成の仕方 等
    - ②日時 令和 6 年 6 月 3 日（月）  
令和 6 年 1 0 月 9 日（水）
      - 場所 県立千葉聾学校
      - 内容 授業参観、教室運営や指導方法の工夫等

## 7 市教育委員会による支援

- 4 月 ・保護者会開催
  - ・教室運営等についての助言
  - ・担当職員研修の企画、調整
- 6 月 ・教室環境等の確認
- 7 月 ・小 6 児童の中学校進学に係る支援関係者会議、  
引継ぎ方法等についての打合せ
- 1 2 月 ・難聴理解授業参観
- 2 月 ・新年度準備に関する打合せ  
(予定)

**LD・ADHD 等通級指導教室** (令和 7 年 1 月 3 1 日現在)

## 1 指 導 校 四街道市立和良比小学校

## 2 設 置 令和 6 年 4 月 1 日

## 3 通級児童人数 1 2 名 (自校通級のみ)

## 4 指 導 時 間 週 1 ～ 2 時間

## 5 活 動 内 容

- ・学習や運動等の苦手さを軽減し、自信を高めるための指導、支援
- ・情緒の安定
- ・社会性の発達
- ・保護者、学級担任への支援 等

## 6 担当の研修

## (1) 成田小学校教諭による研修

日時 令和 6 年 6 月 2 1 日 (金)

場所 成田市立成田小学校 LD・ADHD 等通級指導教室

内容 授業参観、教室運営や指導方法の工夫等

## 7 市教育委員会による支援

- 5 月 ・担当職員研修の企画、調整
- 1 2 月 ・運営状況の確認
  - ・小 6 児童の中学校進学に係る引継ぎ方法等についての打合せ

## 令和6年度養護教諭研修会について

標記研修会について、下記のとおり実施した。

- 目 的 養護教諭の資質を養い、子どもの見方・関わり方等について理解を深める。
- 日 時 令和6年7月2日（火） 13：30～15：00
- 内 容 講話「聞こえにくさのある子ども、病気を抱える子どもへの支援」  
事例発表「見えにくさのある子どもへの支援」  
(千葉県立千葉盲学校より事例発表)
- 場 所 四街道市役所第二庁舎 2階 第2会議室
- 講 師 千葉県立千葉聾学校 特別支援教育コーディネーター 坂口 栄子 先生  
千葉県立四街道特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 原田 友里 先生
- 参加者 市内小中学校養護教諭17名

## 令和6年度 第50回青い麦の子振興ふれあい運動会について

標記運動会について、下記のとおり実施した。

### 1 概要

主催 印旛特別支援教育研究連盟  
印旛地区特別支援学級設置校校長会  
四街道市教育委員会  
四街道市教育研究会特別支援教育研究部

日時 令和6年10月16日（水） 9：00～14：00

会場 四街道総合公園体育館（メインアリーナ・サブアリーナ）

内容 （1）市内小中学校特別支援学級在籍児童生徒の交流  
・＜午前＞ふれあい運動会      ＜午後＞頒布会  
（2）特別支援教育についての理解・啓発の促進  
・各学校特別支援学級紹介記事の市ホームページへの掲載  
公開期間 令和6年10月7日（月）～令和7年10月  
※1年間公開することとした。

[https://www.city.yotsukaido.chiba.jp//b\\_education/elementary\\_middle/school\\_education/aoimuginoko.html](https://www.city.yotsukaido.chiba.jp//b_education/elementary_middle/school_education/aoimuginoko.html)



### 2 行事を終えて

#### ＜成果＞

- ・今年度は市民の参観を可能としたため、放課後等デイサービスの方等、児童生徒に関わる方々にも児童生徒の活動の様子を参観していただくことができた。（市民の参観30名）
- ・子どもたちにとってプラスになる行事であると再確認した。
- ・頒布会で児童生徒が生き生きと活動していた。子どもたちが頑張って作成した作品等が販売でき、目標となるため継続していきたい。
- ・運動会が毎年開かれていることが良かった。（保護者感想）

#### ＜課題＞

- ・ダンスや競技で児童生徒の間隔が十分にとれておらず危険な箇所があった。
- ・競技で順番待ちの時間が多く、飽きてしまう児童生徒がいた。
- ・振興大会と大きな行事で、時間と手間を要する。今回の子どもたちの様子を見ると、持続可能な内容で続けて行けるとよい。

特別支援学級担任から

- ・頒布会は、サブアリーナとメインアリーナで行ったが、メインアリーナだけで良い。
- ・開催時期・開催方法について検討する必要がある。